

下水処理場の海にやさしい取り組み

Vol. 03

垂水処理場での取り組み

下水処理場は法令等で決められたルールを守りながら、下水をきれいにして海や川へ放流しています。神戸市の垂水処理場では、近くに漁場や海苔の養殖場があるため、水質等の基準を守りつつ海にもやさしい処理場運転に取り組んでいます。

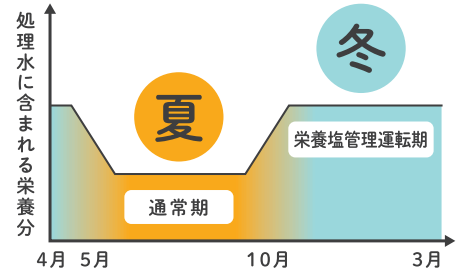


海にやさしい処理場の運転ってなんだろう？

トピック1 海に栄養を！

下水に含まれる「窒素」や「リン」は海苔の生育に必要な栄養素です。海苔の養殖期である冬季には、夏季に比べて多くの栄養分を含む水質となるよう処理場の運転方法を調整して海へ放流しています。

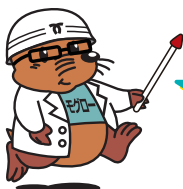
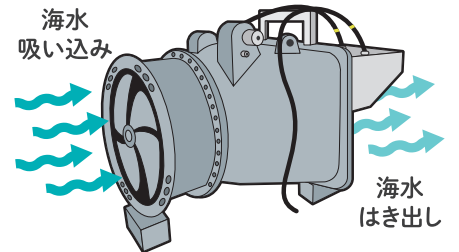
季節によって処理場の運転方法を変えているのね。



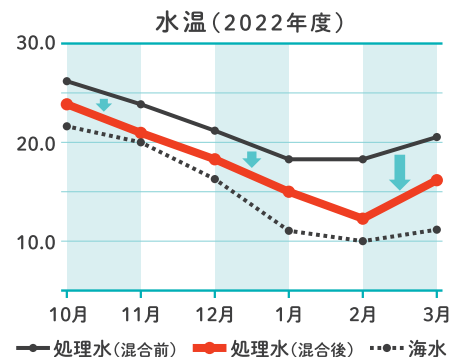
トピック2 下水処理水を冷やせ！

海苔の養殖は冬季に行い、生育には水温が低いほうが適していると言われています。冬季の海水に比べて処理水の水温が高いことから、冬季には海水混合ポンプで海水をくみ上げて処理水と混合することで、海水の温度に近づけてから海へ放流する工夫をしています。

海水混合ポンプ



海水を混ぜることで2~5℃くらい海水の温度に近づいているんだね。



トライ! クイズ! 考えてみよう!

(答えはページの右下)

垂水処理場では冬季に処理水の温度を下げるため何を混ぜているかな？

- A 水
- B 海水
- C 栄養分

